



市民平和の会
くさの かつよし
草野 勝義 議員

近辺における軍備増強計画へ の見解

Q 島原市で実施された長崎県国民保護訓練について、テロやミサイルの想定では市民の避難意識が生まれていない。特にミサイルでは行動時間も非難する場所もない。自然災害を基本として避難訓練を行うこと。

A 今回の訓練はテロ行為発生時における連携強化を図ることを目的に避難行動を行った。今後も地域住民の顔の見える関係を構築し、自然災害のみでなく、あらゆる場面でその機能を発揮できる日本一の自主防災会を目指したい。

Q 佐賀空港にオスプレイ配備が計画され、長崎県では水陸機動団が大村にも増強される。軍備増強計画についての見解は。

A 我が国を取り巻く安全保障の環境を考えると、国民の生命、財産を守るためにやむを得ないと考える。今後の動向に注視していきたい。

高齢者福祉と安全対策

Q 65歳以上の高齢者人口、独居高齢者、要介護認定を受けた人数は。

A 高齢者人口は1万5613人、高齢化率は36・12%、独居高齢者は

2620人、要介護認定者数は3392人である。

Q 緊急通報システム、月額負担金300円を無料にすること。

A 市の財政事情もあり、負担金として担っていたいただきたい。

Q 運転免許証返納者に対しての補助事業は。

A 65歳以上の方へタクシー券を年60枚交付している。

島原市温水プール建設構想

Q 島原市は、学校プールの集約化を進めており、新たな温水プールの整備等を計画している。今後の建設構想内容を。

A 温水プール、小学校プールの老朽化が進んでいる。温水プールはスポーツの振興、健康増進等の観点からも存続の声が強くあり、学校プールの受皿として霊丘公園内のグラウンドに決定。令和7年度に完成予定。

Q グラウンドゴルフなど運動広場の代替策として、霊南埋立地の活用を。

A 霊南埋立地は県所有の土地であり、県とも調整しながら検討する。

【その他の質問項目】

◇公務員の定年引上げについて、具体的内容を追求

◇太陽光発電と蓄電池の活用について、光熱費が高騰していく中で、自治体として節約に向け調査研究していくことを要求



公明党
なご おくにただ
永尾 邦忠 議員

出産・子育て支援

Q 本市の出産・子育て支援の事業内容は。

A 特定不妊、不育治療費助成、産後ケア、母子保健、子育て世代包括支援センター、産前産後ママサポート、すこやか赤ちゃん子育て、副食費代の援助、ファミリーサポートセンター、子育て支援等の事業。

Q 支援の財源である過疎債の使い勝手が悪くなった。一般財源からの組み替え額は。

A 令和3年度決算では、約4千万円をカットされ、その分を一般財源で対応。

Q 伴走型相談支援、出産・子育て応援交付金について。

A ①本市で早急に取り組む考えは。②妊産婦が活用できるタクシー券などの補助メニューを。

A ①面談の実施と出産、子育て応援ギフトとして各5万円相当を支給する支援。今定例会に補正予算を上げたい。②メニューは今後検討。妊産婦、子育て等に有効に活用したい。

Q 大石知事は18歳までの医療費助成制度の創設方針を明らかにした。県内9市町が助成。本市の対応と考

トイレのオストメイト化

Q ①本市の設置状況は。②設置費用は。③バリアフリー推進協議会寄贈の前広便座を、ゆとろぎの湯の駐車場屋外トイレに設置予定だったが、現状は。

A ①市内14か所に設置。②一般的な器具設置で約100万円。③把握していないので、設置状況等を確認したい。

Q オストメイトよりも費用が安い前広便座の設置について、公園のトイレなど少しずつでもいいので、設置の推進をお願いしたい。

A 新施設には多目的トイレを導入。前広便座も費用がかかるので、財政事情等も勘案し、検討したい。

【その他の質問項目】

◇緊急通報システム

◇地域公共交通
◇若者の路上ライブ（音楽活動）への支援
◇スケートボードの練習コーナーが広場で若者の応援を